

気候情報

2004年2月の日本の天候

高温（北日本・東日本）、多雨（北日本）、
多照（東日本、西日本、南西諸島）

2月の天気概況

上旬は東日本から南西諸島にかけて寒気が入りやすく特に西日本と南西諸島は後半に気温が平年を大きく下回った。しかし、中旬に入ると寒気の南下は弱まり全国的に高温で経過するようになった。14日には日本海を低気圧が発達しながら通過して強い南風が吹いたため各地から春一番の便りが届いた。下旬は天気は概ね数日の周期で変わり、引き続き高温で経過した。

上旬：1～2日にかけて深い気圧の谷が通過した後、日本付近は冬型の気圧配置となり寒気が入りやすくなった。寒気は東日本以西に入りやすく西日本と南西諸島は次第に気温が平年を大きく下回るようになった。北日本では寒気の南下は弱かった。旬平均気温は、北日本で高く、南西諸島で低かった他は平年並だった。旬降水量は、北日本と東日本の日本海側で多く、西日本で少なかった他は、平年並だった。旬日照時間は、北日本の太平洋側と東・西日本の日本海側で平年並だった他は少なかった。

中旬：北日本は数日の周期で天気に変化したが、東日本以西は大陸からの高気圧にゆるく覆われる日が多くなった。14日には日本海を低気圧が発達しながら通過して強い南風が吹いたため各地から春一番の便りが届いた。低気圧の影響を受けやすかった北日本は降水量が平年並となったが、東日本の太平洋側以西は少雨・多照が顕著であった。旬平均気温は、全国高かった。旬降水量は、北日本で平年並であった他は少なかった。旬日照時間は、北日本で平年並であった他は多かった。

下旬：天気は概ね数日の周期で変化した。21～22日は低気圧が発達しながら日本付近を通り各地で大荒れの天気となった。低気圧通過後には強い寒気が入って一時冬型の気圧配置となったが長続きせず、25～26日と28～29日には次の気圧の谷が日本付近を通過した。28～29日は西日本を中心にまとまった降水量となった。旬平均気温は、全国で高かった。旬降水量は、全国で多かった。旬日照時間は、北日本の日本海側で少なく、北日本の太平洋側で平年並であった他は多かった。

2月の気候統計

平均気温：全国で平年を上回った。特に、北日本、東日本、西日本の一部では平年を2℃以上上回ったところがあった。東京（東京都）、横浜（神奈川県）、金沢（石川県）で、2月の月平均気温の最高値を更新した。

降水量：北日本と東日本の日本海側で平年を上回った。苫小牧（北海道）、富山（富山県）、金沢（石川県）では月降水量の最大値を更新した。そのほかの地域では、平年を下回ったところが多く、特に関東、九州南部では、平年の40%未満のところがあった。枕崎（鹿児島県）で月降水量の最小値を更新した。

日照時間：北日本で平年を下回ったほかは、平年を上回ったところが多かった。関東甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州、南西諸島では、平年の120%以上となったところがあった。京都（京都府）をはじめ38地点で日照時間の最大値を記録し、1地点でタイ記録となった。

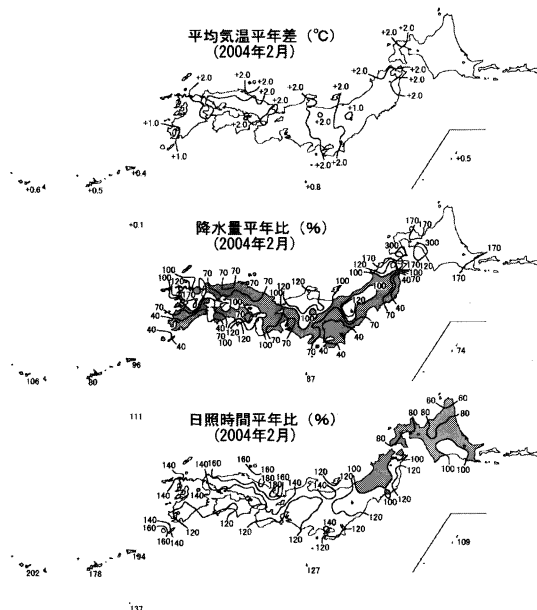
積雪・降雪：降雪の深さ合計、最深積雪ともに北海道の一部で平年を上回るところがあった。網走（北海道）で2月の最深積雪の最大値を更新した。その他の地域では平年並か平年を下回った。

（気象庁観測部統計室）

2月の記録（1位更新のみ）

- 月平均気温高いほうから（℃）
金沢 5.5 東京 8.5 横浜 8.3
- 月降水量の多い方から（mm）
苫小牧 124.5 金沢 243.0 富山 266.5
- 月降水量の少ない方から（mm）
枕崎 31.0
- 月間日照時間の多いほうから（時間）
金沢 111.3 宇都宮 231.7 熊谷 235.7
甲府 232.6 静岡 228.5 横浜 227.5
千葉 215.9 松江 139.5 鳥取 138.2
舞鶴 139.2 京都 170.4 広島 186.1
岡山 194.8 大阪 187.9 山口 170.0
佐賀 181.3 大分 196.0 徳島 194.7
など38地点、タイ記録1地点
- 月最深積雪の大きい方から（cm）
網走 143

2004年2月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す